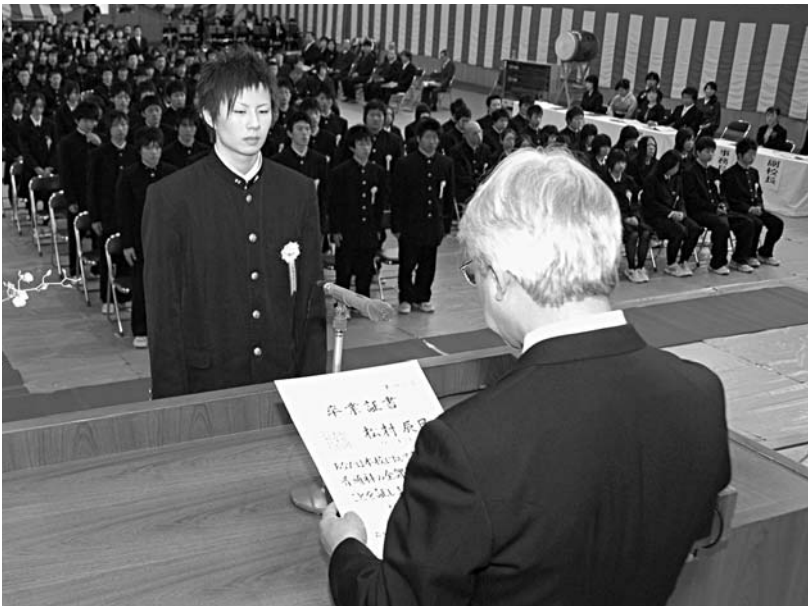


八幡平市



普通科88人を代表して、受川校長から卒業証書の授与を受ける松村君(写真左)

希望を胸に学びや巣立つ平館高校卒業式

県立平館高等学校(受川彰校長、生徒328人)の卒業式は3月1日、同校体育館で行われました。

19年度の卒業生は、普通科と家政科学科を合わせて113人。高校生活3年間の思い出と将来への希望を胸に、体育館に堂々と入場しました。式では、卒業生一人一人の名前が呼ばれ、起立して一礼。



校訓「開拓者精神」を胸に、校歌を斉唱する卒業生

普通科の松村辰巳君と家政科学科の斎藤明日香さんが代表し、受川校長から卒業証書が手渡されました。

受川校長は「感謝と謙虚な気持ち忘れずに、聡明な心で主体性を持って行動してほしい」と激励。卒業生を代表して生徒会長の小山田和輝君が、「この学びやでの出会いは、かけがえのない財産となった。20年度は創立60周年を迎える。伝統と歴史をさらに発展させてほしい」と在校生にエールを送りました。

19年度はスキーやカヤックなど体育部門で活躍したほか、紫薫枕をお年寄りに贈るなど、地域活動にも貢献しています。

イベント満載の田山スキー場まつりは3月2日、同スキー場で行われました。

リフトで山頂付近まで上り、矢神岳展望台を目指すスキーツアーには約40人が参加。参加者は、銀世界の林間コースをスキーで駆け抜け、展望台から田山地区を一望しました。

ゲレンデでは、パイプスキー大会や宝探し大会を開催。スノーモービル引きそり体験なども行われ、訪れた人たちは雪遊びを楽しみました。

田山スキー場まつりで雪の魅力が大発見



田山地区を一望できる矢神岳展望台で登頂の記念撮影



威勢よく太鼓を響かせ、さんざ踊りを披露する出演者

八幡平市芸術文化協会松尾支部が主催するチャリティー演芸発表会は3月2日、松尾地区体育館で開かれました。

この演芸会は、14団体で運営協力し、12団体が出演。色鮮やかな衣装に身を包んだ出演者が、歌や踊りなどを披露。琴の演奏のほか、さんざ踊りの熱演は、訪れた約200人を楽しませました。この演芸会の益金は、福祉に役立ててもらおうと、八幡平市社会福祉協議会に寄付されています。

福祉と文化を高めるチャリティー演芸会